

報酬・料金等の所得税徴収高計算書の様式及び記入例

【記入例①】  
 (例)講師に税別で¥30,000を支払う場合

国税 納付書 (納付書)		報酬・料金等の 所得税徴収高計算書		報 領収済通知書		(記入例) ¥1234567890	
コード	区 分	コード	区 分	コード	区 分	その他の区分及び※印のあるものについては「領収証書」の裏面を参照してください。	
01	原稿料、著作権の使用料、放送謝金等※	07	芸能人の役務の提供を内容とする事業を行う個人の報酬・料金	31	広告宣伝のための賞金		
05	外交員等の報酬・料金※	08	ホステス等の報酬・料金	41	公的年金等		
06	映画、演劇の俳優等の報酬・料金※	21	役務提供についての契約金				
「区分」欄の各欄には、上記の「コード表」から該当するコードをそれぞれ選んで記載してください。		税 務 署 名 (納付書に記載済み)		税 務 署 番 号		税 務 署 使 用 機	
0 1		1		3 3 4 1 1		3 4 1 1	
住所 (所在地)		(電話番号 ○○-○○○-○○○)		本 税		延滞税	
大阪府○○市△△……………		○○市立△△小学校		合計額		¥ 3 4 1 1	
氏 名 (名 称)		様(御中)		◎ 合計額の金額頭部には必ず「¥」字を枠の中に記載してください。		◎ この用紙は直接機械で処理しますので活したり折り曲げたりしないでください。	
摘要				あて先		左記の合計額を領収しました。	

数字は記入例を見て黒のボールペンで力を入れて枠からはみださなように正確に記載してください。

源泉徴収税額は、源泉徴収の対象となる支払金額が100万円までなら、その支払額の10.21%となります(1円未満は切り捨て)

- 3枚1組の複写式
- 1枚目:納付書
- 2枚目:控え
- 3枚目:領収証書

【支払額を求める計算式】※

支払額 = 手取り額 ÷ (1 - 0.1021)

税 額 = 支払額 × 0.1021

(例)講師に30,000円(税別)を渡す場合の支払額と税額

(式) 30000 ÷ (1 - 0.1021) = 30000 ÷ 0.8979 = 33411.2930... (a)

税額 (a) × 0.1021 = 3411 (1円未満切り捨て)

学校(団体)から税務署に源泉徴収額3,411円を納付します

税込みの支払額は33,411円となり、講師に30,000円を支払います

※1円単位の誤差を避けるには、可能な限り途中で切り捨て等をせず、最終的に整数にする際に端数処理を行うのが望ましい

報酬・料金等の所得税徴収高計算書の様式及び記入例

【記入例②】  
 (例)講師に税込みで¥30,000を支払う場合

国税 納金 資金 (納付書)		報酬・料金等の 所得税徴収高計算書		報 領収済通知書		(記入例) ¥1234567890	
32319		令和 年度 06		税務署名 (納付書に記載済み) 税務署 00000000		税務署使用機 0000 (納付書に記載済み)	
コード	区 分	コード	区 分	コード	区 分	その他の区分及び※印のあるものについては「領収証書」の裏面を参照してください。	
01	原稿料、著作権の使用料、放送謝金等※	07	芸能人の役務の提供を内容とする事業を行う個人の報酬・料金	31	広告宣伝のための賞金		
05	外交員等の報酬・料金※	08	ホステス等の報酬・料金	41	公的年金等		
06	映画、演劇の俳優等の報酬・料金※	21	役務提供についての契約金				
「区分」欄の各欄には、上記の「コード表」から該当するコードをそれぞれ選んで記載してください。		支 払 額		税 額			
01		1		30000		3063	
国庫金		住所 (所在地) (電話番号 〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)		本 税			
		大阪府〇〇市△△……………		延滞税			
		〇〇市立△△小学校		合計額		¥ 3063	
		氏 名 (名称) (納付書に記載済み)		◎ 合計額の金額頭部には必ず「¥」字を枠の中に記載してください。			
		様(御中)		あて先			
		摘要		◎ この用紙は直接機械で処理しますので活したり折り曲げたりしないでください。			
				納期等の区分		令和 年 月 06 △ △	
				証券受領		証券番号 振出人	
				内 証券受領		円	
				領収年月日及び領収者名		左記の合計額を領収しました。	

数字は記入例を見て黒のボールペンで力を入れて枠からはみださなように正確に記載してください。

源泉徴収税額は、源泉徴収の対象となる支払金額が100万円までなら、その支払額の10.21%となります(1円未満は切り捨て)

3枚1組の複写式

- 1枚目: 納付書
- 2枚目: 控え
- 3枚目: 領収証書

【手取り額を求める計算式】  
 税額 = 支払額 × 0.1021  
 手取り額 = 支払額 - 税額

(例)講師に30,000円(税込み)を支払う場合の手取り額  
 (式) 税額 30000 × 0.1021 = 3,063  
 講師へは 30000 - 3063 = 26,937円を支払い  
 学校(団体)から税務署に3,063円を納付します